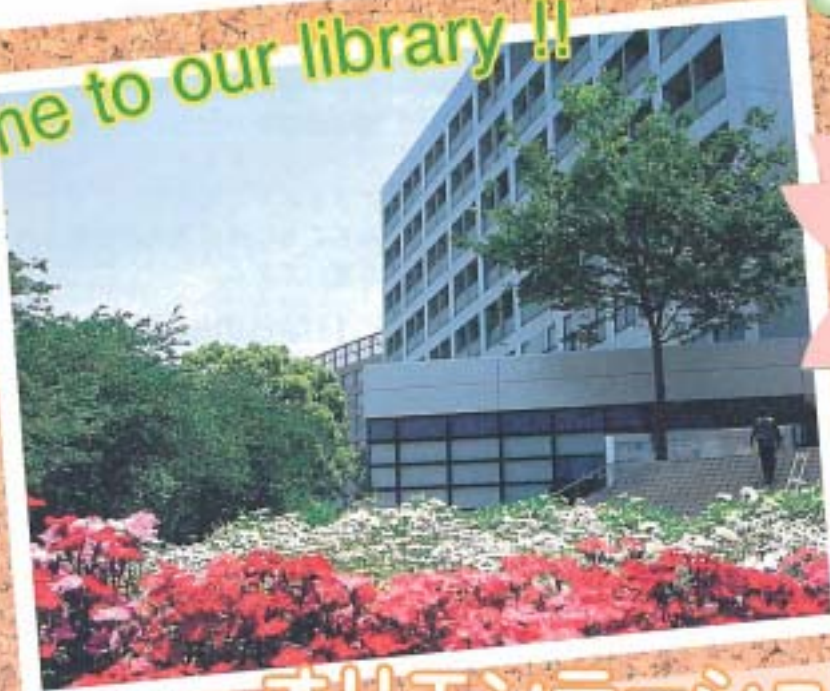


福岡工業大学 図書館報 Vol.22

図書館報 Vol. 22 2006年 4月発行

編集発行／福岡工業大学附属図書館
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1
TEL (092) 606-0691 (ダイヤルイン)
FAX (092) 605-1080
ホームページ <http://www.lib.fit.ac.jp>

Welcome to our library !!



オリエンテーションに 参加しませんか？

- ・図書館の中を見てみたい
- ・図書館はどう利用したらいいのかな？
- ・どんな資料があるの？
- ・探している資料が図書館にないんだけど…
- ・オンラインデータベースの使い方が知りたい …など

- 新入生オリエンテーション
- 文献検索オリエンテーション

申込受付 4月10日頃から

実施開始 4月17日頃から

*どちらも年間通して受付・実施できます。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
在校生のみなさんも春休みの間リフレッシュして新学年を迎えられたと思います。

毎年図書館では新入生を対象にオリエンテーションを行っています。図書館がどのようなところなのか、どんな資料があり、またどのように利用したらよいかなど、図書館の利用法全般について、よりよく知ってもらえるようにご案内します。

新入生だけではなく、まだ一度も図書館に足を運んだことのない人やもっと図書館のことを知りたいという人も歓迎します。

また雑誌記事・論文や資料の探し方など、インターネットを利用して実習形式で行う文献検索オリエンテーションは、これからレポートや論文を作成する機会の多い学生のみなさんにぜひ参加していただきたい内容となっています。





図書館の悩み

福岡工業大学附属図書館長

野田 稔



利用者推移

本学の相互評価結果の中で、図書館に関する大学基準協会からの「助言」の一つとして“図書館の学生利用が減少傾向にあり、図書館の利用に関する広報等を今後検討する必要がある”という指摘がなされた。このことを少し考えてみたい。

本図書館の最大の利用者である学生の利用減少は、入館総数の減少となって現れる。年度推移を見ると、入館総数は平成10～12年度までは11万人台を推移していたが、平成13年度に一気に9.2万人に激減し、その後も減りつづけている（8.8→7→6万人、グラフ1）。

なんとかせねばということで、図書館としてもサービスを拡充したり、居心地の良い時間・空間を提供する努力を行ってきた。たとえば、(1)話題書・文庫新書・書評図書など読みやすい一般書の館内陳列と貸出促進などのサービス増大、(2)図書館報のカラー化・受入図書リストの配布・掲示板への新着図書紹介や利用状況等の図書館広報活動強化、(3)図書館利用環境整備（書架・館内備品のレイアウト工夫、床面や壁の内装修復、絵画展示、植木鉢設置）など、様々な手を打ってきた。それでも入館数の減少傾向は止まらない。学外者の利用は逆に伸びている（グラフ2）から、学生を対象にした改善効果というのは、何か大きな壁を越えないと実を結ばないものがあるようだ。何が入館数減少の原因なのだろうか。

学生と図書館

平成13年度の大規模減少は、新設のA棟へ多数の学生が移り、距離的に図書館から遠のいたことが主因である。その後続くB棟建設と学生食堂の移転により、図書館はますます学生の主たる活動領域から遠ざかり、努力して足を運ばないと達しないキャンパス端部に位置することになった。近くにあればフラッと立ち寄る気になるものでも、遠くまで

行くのは面倒だという意識は当然働く。強い必然性がないと行かないであろう。

では、学生は図書館へ行く必然性があるだろうか。若者一般に読書離れが進んでいると聞く。必要な知識は携帯やパソコンからネットワークで取得するだけで満足できるようだ。レポート課題もそれで解決できるのかも知れない。そういえば、A棟・B棟のあちこちに情報端末が整備されているし、プリンタも置いてある。

これからの取組み

最近、図書館のホームページのアクセス数が増えている。平成16年度は2.7万件あったが、そのうち1.4万件が図書館外からで、内訳は学内6,500、学外7,300であった。平成16年度に減少した入館者の多くが、ネット利用へ回ったと見られないこともない。

今から1年間、図書館のホームページより40誌の日経BP記事検索サービスが利用できるようになった。ぜひ、多彩な内容（パソコン・ソフト・情報・通信・ネット・環境・バイオ・電子・機械・経営・自動車・医療など）を閲覧し楽しんでください。学生・教員諸氏の多大なご利用があれば、これも入館数の仲間に加えて考えたいと思う。

さて、学内には多くの学習用テーブルが設置され、食堂のテーブルさえ利用して、数人のグループで話しあいながら気楽に学習するスタイルが学生に好まれるようになってきている。個人学習を念頭に、静謐さと飲食物持込禁止のモラルを尊ぶ図書館は、多くの学生にとって敷居が高いのかもしれない。しかし、静謐さとモラルは図書館利用の原条件みたいなもので、簡単にははずせないのが図書館側の意識だ。

日産に来たゴーン社長は、お客さんが何を欲しがっているか調べるところから始めたそうだ。我々も、どうすれば学生が気楽に訪れてくれるような魅力ある場所を提供できるか、今後とも考え続けることになる。図書館の悩みは依然大きい。



グラフ1 入館者数推移



グラフ2 学外利用者入館者数推移

私のおすすめ本



知能機械工学科 教授
田中 宏史

「希望格差社会」

山田昌弘 著/筑摩書房



私の読書法が原因で「すすめる1冊」はなかなか浮かんでこない。それは最初の「1冊」の内容に感銘することにより、その作家や著者にのめり込んで、「その著作を全部読む」からである。したがって、「1冊」でなく「作品集」となる。しかし、敢えて「私のお薦め本」といわれると最近の記憶に残る本ということになる。それは「パラサイトシングル」という言葉の生みの親といわれる山田昌弘氏の「希望格差社会」(筑摩書房)を挙げたい。社会学者として著者は現代の時代をデータに基づき解明してくれている。残念ながら明るい世相の分析にはなっていない。若者の夢や希望は時代の有り様でプラスに作用したり、マイナスに作用したりする。学校教育は一般には若者の夢や希望を純粋培養しているといえる。親の経済力や政治力で保護される少数の若者はいるかもしれないが、多くの若者は「自立して自分の力」で夢や希望を実現して行かざるを得ない。自分の夢や希望を実現可能なものとする「大人の知恵」を獲得するために、大学時代に今の時代を考察すること、つまり、「私のお薦め本」を入口として、いわゆる「読書」をお勧めしたい。

この本は 本学に所蔵。360/Y 3階話題書コーナー にあります。



学生部学生課
西 麻衣子

「リッツカールトンで学んだ仕事でいちばん大事なこと」

林田正光 著/あさ出版



私の推薦する1冊は、「リッツカールトンで学んだ仕事でいちばん大事なこと」です。この本は「顧客の期待する何か」を掴むための方法や、人が感動するサービスとは何か、といったマニュアルを超えたサービス論から経営哲学に至るまでの仕事術の極意が書かれています。「リッツカールトンはお客様への心のこもったおもてなしと快適さを提供することをもっとも大切な使命と捉えています」これはこのホテルのクレド(信条・哲学)の一例です。ホテルにとっては当たり前のことですが、それを最低限の基本とし、心くばりを加えることで感動に変わるのだと言います。アメリカで最も優れた品質管理を行った企業に与えられる「マルコム・ゴールドリッジ賞」(米国国家経営品質賞)に2度も輝いた実績をもつのも当然と言えると思います。これから社会に出ようとする人や経営者を目指す人、現在就職に就いている人などにも読んで頂きたい1冊です。少しでも興味を持たれたら一読してみてください。そして何か一つでも共感できる部分があったならば、是非社会の中で活かしてもらいたいと思います。

この本は 福岡市総合図書館で所蔵。 本館を通して借りることができます。

みんなの声

第一級無線技術士 合格

電子情報工学科 玉井 隆治さん



私が、よく図書館を利用するようになったのは、3年の後期頃でした。その頃の私は、第一級陸上無線技術士という資格の受験を控えていたのですが、他の資格でもいえる事ですが、資格取得には受験料、参考書等いろいろとお金がかかります。特に、私が受けたのはその中でもお金がかかる資格だったため、図書館で過去問や参考書を借りられたのは大変助かりました。隣には自習室もあり、勉強する環境も整っていたのでよく利用させてもらいました。

私のように、金銭的な面がネックになって資格取得をためらっている人や資格を取ろうかどうか迷っているという人は、受けようと思うきっかけになるかもしれないので、一度、図書館を利用してみるといいと思います。

余談ですが、「資格を取ろうと思っているけど、何をとるか迷っている」という人がいるのなら、先ほど述べた資格は、条件を満たせば教員免許をもらえる、就職活動時に放送局等でかなり優遇される、難しい試験なので先生方に優遇される等特典がいっぱいなので、オススメです。



研究室訪問

電子情報工学科 時田研究室

A棟7階



時田先生

研究室訪問シリーズ1回目となる今回は、電子情報工学科・時田先生の研究室を訪問しました。

先生の専門分野は物性論。研究室内には壁一面に物理・数学系を中心とした専門書が約1,000冊。と、ふと書棚の一面に目をやると「漱石全集」がズラリ。この意外な取り合わせに先生は「読書は昔から大好きなんです。漱石も学生時代から沢山読みました。」とのこと。

「工学系の研究室=コンピュータに囲まれた機械的な雰囲気」と勝手な想像をしつつ訪問した研究室は、実際には大変多くの図書に囲まれ、また専門分野以外の趣味・教養の本も充実した書棚を見ていると、図書館員としては思わず嬉しくなっていました。

とはいえ、書棚から少し目を外せば、そこはやはり工学系の研究室。メインのパソコン1台と数値計算用パソコン2台、計3台のパソコンが傍らでしっかりと稼働していました。

このコーナーではこのように「本からみた研究室」をテーマに研究室を紹介していきたいと思っています。



壁一面に並んだ専門書はその数約1,000冊



書棚の一面を占める文学全集の数々

話題の書棚から

本学には講義や研究のための蔵書のほか、比較的手軽に手に取りやすい文庫や新書がたくさんそろっています。今回はその中から新聞の書評でも取り上げられた話題の2冊をご紹介します。
(紹介した本の書評記事も図書館で読むことができます。)



【アインシュタイン
16歳の夢】
戸田 盛和 著
B289.3/T
(3階話題書コーナー)

相対性理論でその名を知られるアインシュタイン。その画期的な論文を発表して奇跡の年と呼ばれた年から100年、彼の業績を称え昨年は「世界物理年」と定められました。物理学を塗り変えたと言われる彼の業績や、意外に挫折の多い青春時代のエピソードなどを、わかりやすい読み物として紹介しています。著者も世界的著名な物理学者です。



【さおだけ屋は
なぜ潰れないのか】
山田 真哉 著
B336.9/Y
(3階話題書コーナー)

商売、資産、ギャンブル、ワリカン、ローン…良くも悪くも世の中はお金で動いている。ではそのお金はどのようなしくみで私たちの日常に流れているのか知っていますか？毎日財布は開くのに意外に知らないお金のしくみ・会計学について、私たちの疑問に答えてくれる1冊です。会計学と言っても難しい分析表などはなく、なるほど…と読み進められることと思います。ベストセラーとなったこの本で、世の中のお金に強くなろう！

図書館の現場から 第1回

～図書館業務をクローズアップ～

今日からシリーズで図書館のお仕事を紹介していきます。第1回は、「カウンター編」です。みなさんにとって最も馴染みのあるところではないでしょうか？主な仕事は、資料の貸出・返却の手続き、質問回答などです。その他、館内資料の管理や、皆さんや先生方が希望する資料や文献の予約・申込などの受付、受渡し、入館者数の集計など様々な業務を行っています。皆さんの学習、研究、読書の手助けとなるよう心がけて業務に取り組んでいます。質問等があればいつでも声をかけてください。



図書館の豆知識 まめ1

～知っててトクする図書館のはなし～

【OPAC】

正式名称は Online Public Access Catalogue、略してオーバック。コンピュータで検索できる図書館の所蔵目録データベースのことです。探したい本がどこにあるか、貸出中であるか、返却予定日はいつかなどを知ることができます。「オンライン目録」「コンピュータ目録」「蔵書検索システム」などと言われることもあります。また蔵書検索用のコンピュータを OPAC 端末と呼んだりもします。

OPAC 以前は「目録カード」の時代でした。それから時は経ち、今では数多くの図書館やそのホームページで日常的に OPAC を目にする事ができます。

もし図書館で友人に「オーピーエーシーって何？」と聞かれたら迷わず「オーバック！」と答えてあげましょう。

TOP Ranking 話題書コーナー 貸出BEST5

(2/28現在)

- 1 映画化された話題のミステリー
ダ・ヴィンチ・コード 上巻 (933/B)
ダン・ブラウン 著 (角川書店)
- 2 第130回芥川賞受賞作
蹴りたい背中 (913.6/W)
綿矢りさ 著 (河出書房新社)
- 3 第130回芥川賞受賞作
蛇にピアス (913.6/K)
金原ひとみ 著 (集英社)
- 4 最高の感涙作
いま、会いにゆきます (913.6/I)
市川拓司 著 (小学館)
- 5 国際結婚のまんがレポート
ダーリンは外国人 I (726.1/O)
小栗左多里 著 (メディア・ファクトリー)

TOP Ranking ビデオ・DVD 貸出BEST5

(2/28現在)

- 1 酔拳2 スペシャルエディション
主演：ジャッキー・チェン (1994年)
- 2 AKIRA
原作、監督：大友克洋 (1988年)
- 3 トゥームレイダープレミアム・エディション
主演：アンジェリーナ・ジョリー (2002年)
- 4 アルマゲドン
主演：ブルース・ウィリス (1998年)
- 5 モンスターズ・インク
製作：ディズニー&ピクサー (2002年)